

↓
(実施状況と評価の公表)

[様式についての委員さんからの意見]

- ・ 事業が2課以上にまたがる課の評価について、基本はそれぞれで行い、場合によっては合議で。
- ・ D判定「見直しを要する」は、選びにくいので文言を修正（事務局で修正予定）
- ・ 評価目線について…課（担当者によって評価の違い）また住民目線なのかなど
→まとめを行う事務局と審議会で評価についても精査する。
- ・ 事業が進んでいないという評価の場合、進んでいない理由も記載しやすいように文言を修正。

5 その他 啓発の検討など

[事務局] 7月の人権啓発強調月間にあわせて、DV相談窓口の周知を行うためウェットティッシュを町内JRの駅で配布。

予算はあまりないが、なにか「啓発」に関するよいアイデアがあれば伺いたい。

[委員さんからの意見]

- ・ 人が集まるところで啓発チラシを配布する。
(町のイベント文化祭、60周年記念式典など)
- ・ 人の集まるところでの講演（組長会など）
(社会教育課の長先生…今年度の公民館で行う人権研修の1コマ90分の時間の半分の時間を使い男女共同参画関係の話をする予定とのこと)
- ・ 豊前市でされている事業だが、男女共同参画をテーマにした標語、作文を子どもたちから募ったらどうか。考える機会になる。また、企業に対する啓発も難しいところがあるが、この標語募集を企業に対しても行うのはどうか。入賞すると掲示され、イメージアップにもつながるし、企業内で話し合う材料となる。
- ・ PTAの成人教育などを使い講演依頼をしてもらえないか。年1回でもあるし、学校の方も何をしたらよいかを探している。
- ・ 啓発用のリーフレットをタイプ別につくる（子ども向け、親向けなど）
- ・ 粕屋町は子どもが多い。小さなころから、例えば幼稚園、保育園の中でも「男のくせに、女にくせに」が無くなるよう教育する。

以上